



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/

トピックス

広島県における民国連携による森林施業共同化の推進

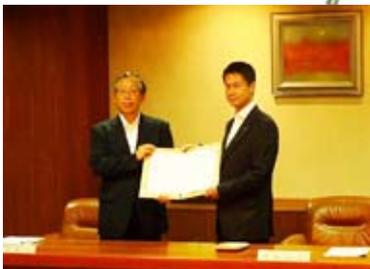
広島県の森林は戦後造成されてきた人工林がその蓄積を増すなど資源として成熟期を迎えつつあります。特に民有林の現況は5ha未滿の小規模な森林所有者が大半を占めており、県では森林の団地化を促進し、効率的な木材生産・流通体制の確立を目指した林業の構造改革に取り組んでいますが、今後、その人工林を適切に管理するとともに、間伐材等を有効に利用していくことが求められています。また、同時に川上から川下までを繋ぐ新たな木材流通システムの構築等に取り組むことにより、県産木材の安定した供給体制を確立していくことが求められています。

このような課題にこたえていくためには、民有林と国有林が相互に連携、協力し一体となって取り組むことが重要であり、広島県においても、昨年度から広島北部森林管理署において民国連携による森林共同施業団地の取り組みが行われていますが、この取り組みが広島県下に一層広がるよう広島県をはじめ関係者において協議を重ねてきた結果、森林整備等に関する総合的な覚書を民有林の代表者である広島県と国有林との間で締結することとなりました。

広島県における多様で豊かな森林づくりと森林資源の循環利用を推進するために、去る7月5日広島県庁において、広島県と近畿中国森林管理局の間で「森林整備に関する覚書」を締結し、湯崎英彦広島県知事と本村裕三近畿中国森林管理局長による調印式を行いました。湯崎知事からは「今後は国有林と一体になった共同施業団地の設定により、森林整備や利活用が広く波及し、効率的な木材生産と流通体制の確立につながることに期待する。」とのコメントをいただいたところです。

覚書の内容としては、①それぞれの森林が重点的に発揮すべき機能に応じた森林整備を積極的に推進すること、②森林資源の循環利用を促進するため、関係機関とともに連携・協力して森林共同施業団地の設定及び効率的な路網の整備等に取り組むこと、より効率的な森林施業を実施するとともに、生産性の向上及び木材の安定的な供給体制の確立を目指すこととなっています。→ 次頁

＝ 広島県における民国連携による森林共同施業団地設定地域 ＝



覚書への署名を終えた湯崎広島県知事(右側)と本村森林管理局長(左側)

1. 「西牛尾山・中尾山地域森林整備推進協定」
対象区域：広島市安佐北区区内における県営林及び国有林を対象とする地域
森林面積：469ha
有効期間：平成26年3月31日
協定締結機関：広島県及び広島森林管理署の2者

2. 「平見谷・鷗木山地域森林整備推進協定」
対象区域：山県郡安芸太田町平見谷地区及び広島町鷗木地区を中心とした県営林、国有林、農林振興センター事業地及び水源林造成事業地を対象とする地域
森林面積：1,147ha
有効期間：平成26年3月31日
協定締結機関：広島県、財団法人広島県農林振興センター、独立行政法人森林総合研究所森林農地整備センター中国四国整備局広島水源林整備事務所及び広島森林管理署の4者

また、覚書の締結・調印式に引き続いて、民有林と国有林における間伐等の森林整備を適切かつ効率的に行い、森林資源の循環利用の促進を図るため、前頁の2箇所において「森林共同施業団地」を設定し、森林整備の目標や方法、効率的な路網の整備などの取扱いを定め、協定者が連携して森林整備に取り組むことにより、多様で豊かな森林づくりの促進に寄与することを目的とする「森林整備推進協定」を広島県外関係機関と広島森林管理署の間で締結し調印式を行いました。

今後は、各種事業の円滑な実施のため各地域における「森林整備実施計画」に沿った森林整備及び路網整備を実施していくとともに、民国連携した共同施業団地への取り組みをさらに推進することとしています。

梅雨前線集中豪雨による山地災害への対応

【近畿中国森林管理局 治山課】 7月13日から16日頃にかけて、梅雨前線がもたらした大雨により、中国地方を中心に管内の国有林各地で土砂崩れなどの災害が多数発生しました。

(管内国有林の被害箇所数：217箇所、被害額：606,344千円(8月6日現在))

近畿中国森林管理局では、広島北部森林管理署及び広島森林管理署管内の国有林における被害状況を迅速に把握するため、ヘリコプターによる調査を実施するとともに、京都大阪森林管理事務所等の山腹崩壊発生箇所では、二次災害を防止するための崩土除去等の応急対応を実施しました。



集中豪雨により至る箇所で見られる山肌崩れ落ち、土石流が発生した民有林の状況(広島県庄原市)

下流にある民家、水田等を土石流が呑み込んだ



広島県と近畿中国森林管理局の合同による民有林被害箇所の現地調査

また、局地的な集中豪雨により広島県庄原市の民有林において発生した大規模な山地災害では、広島県からの要請を受けてヘリコプターによる調査や現地調査にあたって職員を派遣し技術的助言を行うなどの災害対応への支援を行いました。

今後は、今回の災害で荒廃した森林の復旧を図るため、調査等を引き続き行っていく予定です。

地域ニュース

教員を目指す大学生を対象に森林環境教育セミナーを実施

【箕面森林環境保全ふれあいセンター】 大阪府箕面市にある箕面国有林において、京都教育大学社会領域専攻の新入生40名、2回生の4名に参加してもらい、京都大阪森林管理事務所、ボランティア団体の協力を得ながら、森林環境教育セミナーを実施しました。



ノコギリを使って間伐体験をする様子

森林環境教育セミナーは、学校教育における森林環境教育の導入を促進することを目的として、平成16年度から箕面市等の小・中学校の教員を対象に実施して参りましたが、今年度は、教員を目指す大学生に森林環境教育の大切さを理解していただくセミナーも実施することとしました。

まず午前中はエキスポの森において、「オオクワガタ^すの棲める森づくり」の取組及びカミネッコ[※]ン(※再生紙段ボールから作られた紙型枠のこと)の作り方を説明した後、カミネッコ[※]ンの作製、苗木の移し替え、現地への植樹を体験していただき、最後に記念標柱を立てました。今回は、綺麗な花が咲くことを祈り、ヤマザクラ、エドヒガンを45本植樹しました。

午後からは勝尾寺園地に会場を移し、間伐体験と昨年8月に当センターで作成した森林環境教育推奨事例集の中から「色あわせ」、「飛ぶタネの模型づくり」、「森

クラフト」を実践してもらいました。

間伐体験では、間伐の意義及び安全作業を説明した後、デモンストレーションを行い、一人ひとりが鋸を使い間伐、枝払い、玉切りを体験しました。また、推奨事例集を活用した実践では、童心に戻った気分でそれぞれの事例に取り組んでいただきました。

その後のふりかえりの時間では、参加した学生から、「実際に体験して、木は偉大だと感じた」、「楽しもうという気分で頑張った。色あわせが意外と楽しかった」との感想のほか、「飛ぶタネを作って飛ばしたのが面白く、先生になったら子どもたちにも教えられる」という意見もあり、将来に向け頼もしさを感じました。

最後に当方から、「今回の体験を忘れず、森林への関心を持って3年間又は4年間勉学に励んでもらい、将来、森林環境教育の実施者として教壇に立っていただくことを期待しています」と挨拶し、セミナーを終了しました。

関連ホームページ

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/

アサヒの森と水の学習会プレ授業開講 ～民国連携事業～

【広島北部森林管理署】 広島北部森林管理署（大橋和夫署長）とアサヒビール株式会社・アサヒの森環境保全事務所（松岡洋一郎所長）は、庄原市立比和小学校で同校5、6年生児童19名を対象に8月に予定している「アサヒの森」の連携森林教室のプレ授業を開催しました。



現場で使う小道具、植物の図鑑を使って児童達に身振り手振りで授業をする職員

パワーポイントで「民国連携」について、同保全事務所の松岡所長と広島北部森林管理署森林ふれあい係長が、交互に説明の後、広島北部森林管理署職員の「手作りの木の図鑑」を配付して勉強会を行いました。

スギ、ヒノキ、マタタビなどの葉やツルを全員に配り、「みて・触って・聞いて」森林の機能を理解。

また、アサヒの森環境保全事務所が、蜂などの諸注意事項などを説明して8月4日に実施予定の森林教室「森と水の学習会」の予習をしました。

参加した同校5年生の森田むつみさんは「林野庁の

人とアサヒの人に山に触ると危険な木や色々な木の名前がわかる説明をしていただきました。マタタビは思ったよりもきつい臭いで驚きました。8月の現地では今日勉強したことを活かそうと思います。」と感想を述べていました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hirosimahokubu/>

地元住民と協力した再生竹駆除

【山口森林管理事務所】 山口県岩国市にある城山国有林では、近隣の住民からの要望で、平成20年に住宅に隣接し繁茂している竹を伐採しました。

竹を完全になくすためには、地下茎から毎年再生してくる竹を根気強く伐り続け、地下茎を完全に枯らさなければなりません。このため、毎年、自治会と協力しながら再生竹の伐採作業を行っています。

今年は再生竹が例年になく多かったため、自治会からは十九名が参加する大掛かりな作業となりました。



地元住民（青年）が先輩に負けじと黙々と作業している様子

これまでの参加者は年配の方ばかりでしたが、今回は青年が1名参加し、鎌や鋸はぎこちないながらも、先頭に立って一生懸命に働いていました。年配の方も青年に負けじと作業に力が入り、活気ある作業となりました。

伐採後には、「この程度では物足りない」「竹は私たちが根絶するぞ」など、参加者からは頼もしい声が聞こえてきました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/yamaguchi/>

「斑鳩の里法隆寺古事の森」普及啓発イベントを実施（松尾寺特別参拝）

【奈良森林管理事務所】 野山国有林（斑鳩町）に設定している、「斑鳩の里法隆寺古事の森」の普及啓発と日本最古の厄除霊場「松尾寺」の特別参拝を実施しました。

特別参拝では、住職より松尾寺の1300年の歴史や由来などについての特別講義を受けた後、重要文化財に指定されている本堂や恵比寿など七福神を祀る七福神堂、山岳信仰と松尾山修験道の歴史を伝える行者

を案内していただきました。

当日はあいにくの雨で、午後から予定していた「古事の森」の下草刈りを取りやめ、会場を当所の会議室に移し、古事の森と森林・林業の学習会を行いました。

流域管理調整官より「古事の森」のこれまでの取り組みの経過、文化財と森林の関わり等について説明しました。

続いて上席調整官より日本の森林の現状と課題、当所の重点取り組み、奈良県内の国有林の特徴等について説明しました。



行者堂を参拝する参加者

奈良森林管理事務所での勉強会

最後に、参加者より「檜皮葺きの屋根修理用の供給量はどれくらい必要か」「林業従事者が減少していると聞いているが対策はどのように採られているのか」「地球温暖化対策に必要な森林はどれくらいいるのか」等の質問があり、活発な意見交換が行われました。

当所では、今後も古事の森育成協議会との連携を密に「古事の森」の普及啓発に向けて取り組む方針です。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/nara/>

お知らせ

南北朝料繚乱の山・金剛山～大阪最高峰の森を歩く～

1. 日程：2010年9月23日（木・祝）
2. 集合：10:00 南海バス「金剛山ロープウェイ前」バス停
3. 解散：16:30 南海バス「金剛山ロープウェイ前」バス停 金剛バス「千早ロープウェイ前」バス停
4. 行程：ロープウェイに乗車して金剛山上へ。山上の森を歩きながら、転法輪寺、国見城跡、周遊路を通り、ちはや園地からロープウェイ駅に戻ります。（歩行距離：約5Km、高低差：約150m、一般向きコース）
5. 案内人：大阪森林インストラクター会
6. 募集人数：先着30名（終日のハイキングができる方）
7. 持ち物：お弁当、水筒、雨具、ハイキングのできる靴と服装、座るためのシート、汗ふきタオル、おやつ、その他必要と思われるもの

8. 参加費：中学生以上2000円

※ 小学生以下は無料ですが保護者同伴でお越しください。

※ 別途、往復ロープウェイ代1300円が必要です。

※ 保険料を含みます。

9. お申し込み＆お問い合わせ：大阪森林インストラクター会（担当：金子、佐藤）まで、EメールかFAXのいずれかの方法で、
Eメール：osaka_inst@yahoo.co.jp
FAX & TEL：072-956-3784

10. 申込締切：9月13日（月）

11. その他：※ 最少催行人数10名。

※ 雨天時もロープウェイの運転が予定されていれば催行します。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/pdf/kongouzan.pdf>

里山デジカメ選手権 ～身近な森の再発見！～

近畿中国森林管理局では、里山など身近な森林を対象にした写真コンテスト「グループ対抗 里山デジカメ選手権」を実施します。

「身近な森林の再発見！」をテーマに里山に代表される身近な森林を対象として、森林の中に暮らす動植物や森林づくり作業・森林環境教育活動などの一瞬を切り撮った写真を募集します。

1. 募集締切 平成22年9月30日
2. 応募規定 ①～③のジャンル毎に、グループを単位とした3枚組写真（2～3名で1グループ）
 - ① 学校関係グループ（小学校～高等学校）
 - ② 森林・林業に関する活動グループ
 - ③ 一般グループ（①②以外のグループ）
3. 写真 A4版カラー印刷（デジタル写真のみ）3枚1組
4. メッセージ 3枚1組に対して400～600字程度の事象の意味や背景、あるいは被写体と森林との関係や里山への想い、活動などに関してのメッセージを添付
5. お問い合わせ先 075-414-9049
（箕面森林環境保全ふれあいセンター）

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/digcam/h22torikumi.html